

平成30年度
第4回紀の川市地域公共交通活性化再生協議会
会 議 録

平成31年2月
紀の川市企画部地域創生課



会 議 録

□会議の名称： 平成30年度第4回紀の川市地域公共交通活性化再生協議会

□開催日時： 平成31年2月20日（水） 13時40分開会～14時40分閉会

□開催場所： 紀の川市役所 本庁2階 市民協働スペース

□会議次第： 1. 開 会
2. あいさつ
3. 出席者紹介
4. 議 事
5. そ の 他
6. 閉 会

□会議資料： ○配席図
○議案書（資料1、2合綴）
○資料3
○紀の川市地域公共交通網形成計画【本編】（素案）
○紀の川市地域公共交通網形成計画【資料編】（素案）

□会議の公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）： 公 開

□傍聴人の数（公開した場合）： 0 人

□出席(欠席)委員： 別紙「出席者名簿」のとおり

□事務局： 事務局担当課所管部長 今城 崇光（企画部長）
事務局長（地域創生課 課 長）直田 武真
事務局員（地域創生課 班 長）高月 良和
事務局員（地域創生課 主 任）小河 慶高
事務局員（地域創生課 副主査）西川 昌克

□会議録署名委員： （那賀地区区長会 会長） 平井 貴 委員
（桃山地区区長会 会長） 植田 紳一 委員

□議事進行

1. 開 会

○直田事務局長より会議の開会を宣言。

2. あいさつ

○林会長より挨拶。

3. 出席者紹介

○直田事務局長より出席者の紹介。

○当会規約第9条に基づき、高橋副会長が議長に就任する。

4. 議 事

○高橋副会長が、会議の成立要件に鑑み、有効に成立していることを確認する。

○高橋副会長が、会議録署名委員（2名）を指名し、了承を得る。

【議案第1号】委員の変更について

○高橋副会長

事務局へ説明を求める。

○事務局

「議案書3ページ」により説明。

○高橋副会長

意見・質疑を委員に求める。

（意見・質疑等なし）

○高橋副会長

拍手をもって承認の可否を確認。

（拍手多数）

○高橋副会長

拍手多数と認め、第1号議案を承認する。

【議案第2号】「打田南」～「窪」区間のフリー乗降化について

○高橋副会長

事務局へ説明を求める。

○事務局

「議案書4ページおよび5ページ（資料1）」により説明。

○高橋副会長

意見・質疑を委員に求める。

○廣海委員

当該区間では、過去に自転車による単独事故が発生している。当該道路東側の脇に流れている用水路への転落事故で、万が一バスが当該区間で停車するとなると、歩行者や自転車が通行できるスペースが無くなり危険であることが想定される。

地元住民との協議はどうなっているか。

○事務局

地元区長からは、当該区間で死亡事故が発生したことがあると伺っており、一部の道路が狭隘であることは聞いている。区長からは、地域住民が乗車する際には、ある程度道幅が確保できる場所で乗降するよう、住民理解にご協力いただく旨をお約束いただいている状況である。

しかし、用水路への転落など、事故の詳細を把握できていなかったため、交通安全対策を十分にとるため、再度地元区長と協議を重ねたい。そのため、今回は議案第2号を保留としていただきたいが、どうか。

○高橋副会長

その他の意見・質疑を委員に求める。

（意見・質疑等なし）

○高橋副会長

フリー乗降は利便性が高まる一方で、安全対策を万全にしなければ危険性が増す恐れがある。今回の議案第2号は「保留」とし、継続審議として整理したいが、異議等ないか。

（意見・質疑等なし）

○高橋副会長

異議なしと認め、第2号議案を「保留（継続審議）」とする。

【議案第3号】赤沼田地区デマンド型乗合タクシーの本格運行について

○高橋副会長

事務局へ説明を求める。

○事務局

「議案書6ページおよび7ページ（資料2）」により説明。

○高橋副会長

意見・質疑を委員に求める。

○平井委員

実際の利用は名手駅までが多いのか、病院までが多いのか？

○西脇委員

運行事業者として回答する。利用者のほとんどは足の悪い高齢者である。そのため、サービスの適用範囲である名手駅か麻生津までを利用したのち、タクシーに切り替えて、そのまま病院やオークワに向けて利用されている。

○神徳委員

デマンドが本格運行に切り替わり、かつ予約可能時間が長くなる可能性があるということで、喜ばしいと思う。さらに利便性を向上させるため、近隣スーパーマーケット等への乗り入れなど、コースの改善も視野に入れてはどうか。

○事務局

本格運行への切り替えに関し、地元区長へ説明に伺った際に、区長からも同様のご意見をいただいた。利便性のため、検討していきたい。

○西脇委員

商業施設の中に入ることができるとうい。

○神徳委員

中に入れなくても、道路側のところでもいいと思う。ただ、コースを変えること

で、乗換えの手間がなくなり、余分なお金を支払わなくてもよくなるほうがいいのではないか。

○西脇委員

利用者のことを考えると、利便性を高める工夫が望ましい。

○高橋副会長

高齢の方の移動目的は、通院や買い物がメインになる。最近は、スーパーでも出入口の前に停留所を置かせてもらえるようになってきている。政策の一環として、商業施設との連携は必要になると思う。

○坂前委員

デマンド型のタクシーを利用した際、麻生津や名手駅に着いた後、バスに乗り換えて、病院にいけるルートがあるか。

○西脇委員

コースはある。ただ、利用されている方は、どうしてもドア to ドアを希望されることが実態である。

○坂前委員

すべてのニーズに対して、タクシーだけで対応するのはいかがかと思う。

○事務局

「市内全域でデマンドを運行すればどうか」や「この地域全域でデマンドを導入してほしい」というご要望をいただくことがあるが、その際には、「デマンドを全域で導入することで、一時的な利便性は格段に向上するかもしれないが、一方でバスや鉄道、タクシーなどの地域公共交通網が弱体化し、結果として数年後に地域公共交通が廃止の危機を迎える、という結果を迎える可能性がある」旨をご説明し、一定程度の不便益を受容いただくようご説明、お願いをしている。

○高橋副会長

意見・質疑を委員に求める。

(意見・質疑等なし)

○高橋副会長

拍手をもって承認の可否を確認。

(拍手多数)

○高橋副会長

拍手多数と認め、第3号議案を承認する。

【議案第4号】地域公共交通網形成計画パブリックコメントの結果および修正等について

○高橋副会長

事務局へ説明を求める。

○事務局

「議案書8ページ」および「資料3」により説明。

○高橋副会長

意見・質疑を委員に求める。

(意見・質疑等なし)

○高橋副会長

拍手をもって承認の可否を確認。

(拍手多数)

○高橋副会長

拍手多数と認め、第4号議案を承認する。

5. その他

○事務局

①新規採用職員提案型研修による地域公共交通の利用促進・魅力発信の取組について

- 紀の川市役所の新規採用職員研修の一環として、平成29年度から「提案型研修」に取り組んでいる。

- 平成30年度採用職員の研修成果として、貴志川線沿線と和歌山線沿線の魅力発信に関する成果品が完成した。
- 貴志川線沿線については動画で、市役所本庁舎1階のデジタルサイネージで公開中。
- 和歌山線沿線については印刷物で、粉河駅周辺のマップを印刷・配布予定。

④議事録の署名について

○恩河委員

2月23日に、新型車両（和歌山線）に手を振るイベントが企画されているが、どのような状況か。

○藤原委員

沿線の自治体にも協力いただき、沿線のスポットスポットで手を振っていただく予定。また、橋本駅では新型車両の公開も予定している。

ぜひお誘い合わせのうえ、お越しいただきたい。

6. 閉 会

以上、平成30年度第4回紀の川市地域公共交通活性化再生協議会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

平成31年 3 月 / 日

会 長 林 信 良 

署名委員 平 井 貴 

署名委員 植 田 紳 

(参考) 出席者名簿

規約第4条に基づく 位置付け	所属	職名	氏名	備考
(1) 紀の川市の指名する者	紀の川市	副市長	林 信良	会長
	紀の川市	福祉部長	橋本 好秀	
	紀の川市	農林商工部	神徳 政幸	
	紀の川市	建設部長	前田 泰宏	
(2) 法第2条第2号に掲げる 公共交通事業者等及びその 組織する団体が推薦する者	和歌山バス那賀株式会 社	取締役社長	久保 洋介	
	有田交通株式会社		浅井 英行	代理出席
	株式会社有交紀北	代表取締役	西脇 正宜	
	西日本旅客鉄道株式会 社	総務企画課長	藤原 鋭	代理出席
	和歌山電鐵株式会社	総務企画部長	麻生 剛史	代理出席
	公益社団法人和歌山県 バス協会	専務理事	森下 清司	
	和歌山県交通運輸産業 労働組合協議会	バス部会長	坂前 吉信	
(3) 住民又は利用者の代表	粉河地区区長会	会長	恩賀 義之	
	那賀地区区長会	会長	平井 貴	
	桃山地区区長会	会長	植田 紳一	
	貴志川地区区長会	会長	南 勝	
(4) 近畿運輸局和歌山運輸 支局長又はその指名する者	和歌山運輸支局	運輸企画専門官	小林 純平	代理出席
(5) 岩出警察署長又はその 指名する者	岩出警察署	交通課長	廣海 泰宏	代理出席
(6) 道路管理者、学識経験 者その他の協議会が必要と 認める者	近畿大学経営学部	教授	高橋 愛典	副会長
	和歌山県企画部地域振 興局総合交通政策課	副課長	中嶋 宏	代理出席 監査委員
	那賀振興局建設部	管理保全課長	笹野 雅義	代理出席
	岩出市総務部総務課	総務部次長兼総務課長	木村 清隆	監査委員
ご欠席	一般社団法人和歌山県タ クシー協会	専務理事	安東 完爾	
	打田地区区長会	会長	坂上 明	
	紀の川市身体障害者連 盟	会長	泉中 條子	
	和歌山運輸支局	首席運輸企画専門官	衣川 勝己	
	和歌山河川国道事務所 和歌山国道維持出張所	所長	原 利恵子	

